

5月

平成元年  
1989

横浜市関係

- 4—横浜博覧会、地方博覧会の一日の最多入場者数二八万二〇五人を記録する
- 5—横浜こども科学館の開館五周年
- 11—市青少年団体連絡協議会と市が招待したタイ・バンコクの青年二五人、市長を表敬訪問
- 12—みなと経済振興懇談会の新産業構造ビジョン策定委員会、「ヒューマンポータル横浜をめざして」をまとめる
- 13—金沢消防署が中心になって、レジャー船衝突事故を想定した消火・救助訓練を金沢区海の公園沖の海上で実施
- 17—大倉山記念館で「水曜コンサート」の「二〇〇回突破記念駅伝コンサート」開催
- 18—横浜ビジネスパークの上棟式行われる
- 19—JR根岸線、桜木町から磯子間に開通して二五周年
- 20—中区新本牧地区に地区センター、区図書館、精神薄弱者通所更生施設の三機能併設館が完成、開館記念式典開催
- 22—横浜国際平和会議場会社、国際会議場・ホテル棟の設備工事の入札を実施。
- ▽横浜市会五月定例会開催（5/31）
- 23—横浜地裁、市立保育園保母の頸肩腕障害を公務災害と認め二〇〇万円の賠償
- 25—国際青年会議所（JCI）のアジア

自治体・国・社会

- 1—厚生省、「昭和六十二年度版医療費マップ」を発表。最高は広島県の一五万七千円、最低は沖縄県の八万一千円。神奈川県は一〇万八千円。▽労働者の祭典・第六〇回メーデーで東京の中央メーデー、初の分裂開催。
- 2—民社党の元委員長、春日一幸氏死去（79歳）。9—県、池子米軍住宅建設工事のアセス変更届けを許可。13—神奈川県、土曜閉庁実施。16—ゴルパチョフソ連書記長、鄧小平中国中央軍事委主席と会談。国家関係、党関係の正常化を宣言。19—沖縄西表島のサンゴ落書き真記事ねつ造事件で朝日新聞、カメラマンを懲戒解雇。26日に一柳朝日新聞社長辞任。▽東京湾横断道、同湾岸道と結ぶ川崎縦貫道路についてのアセス準備書、国が川崎市に提出。20—中国政府、学生らの民主化運動に戒厳令を施行。21—公明党の臨時大会で第五代委員長に石田幸四郎氏を選出。22—困連事務局人権センター課長ヤコブ・モラー氏、日本の代用監獄を調査。▽東京地検特捜部、リクルート事件で藤波孝生元官房長官と池田克也衆院議員を受託取賄罪で起訴。

6月

平成元年  
1989

横浜市関係

- 太平洋横浜会議（アスパック89）（28日）開会式、横浜アリーナで開催
- 29—横浜新都市交通、金沢シーサイドラインの料金を運輸省に申請
- 30—建設省、「国立横浜国際会議場（大ホール）」のマスタープランなどを官報公示。▽ニューカレドニアの珍鳥カグーのペア、野毛山動物園に到着
- 31—市会本会議、消費税転嫁条例案を継続審議
- 1—駐日西ドイツ大使と東京ドイツ学園理事長、市長を訪問。移転に伴う協力を要請。▽市、緑区中山町に北部第二シルバー人材センターの出張所を開設。▽横浜市立大学、創立六〇周年
- 2—市政一〇〇周年、開港一三〇周年を祝う記念式典、横浜アリーナで開催
- 5—港北区、「港北の自然とわたしたち」生きている鶴見川」を発行
- 6—市、市立保育園保母の頸肩腕障害訴訟を東京高裁に控訴
- 7—上海市との友好都市提携一五周年を記念して建設された「横浜上海友好館」の完成式典、中国情勢の混乱により延期。
- ▽交通事故防止緊急対策地域に指定され、金沢区交通対策協議会臨時会開催
- 12—市長、「よこはま21世紀プラン」の

自治体・国・社会

- 23—横浜地裁、マンションの建築確認関係書類の公開にかなうる県情報公開訴訟で公開請求を棄却。25—ソ連の新しい最高議決機関・人民代議員大会の第一回大会開催。新元首にゴルバチョフ書記長を選出。27—川崎市浮島地区と千葉県木更津市間を海底トンネルと橋りょうで結ぶ「東京湾横断道路」の起工式開催
- 2—衆参本会議で第七五代首相宇野宗佑氏選出。3—宇野新内閣発足。▽イランの最高指導者ルホラ・ムサビ・ホメイニ師が死去（86歳）。▽中国の戒厳部隊、天安門など市中心部へ出動。市民を強制排除。8—第五回共産党中央委員会総会で委員長に不破哲三氏選出。13—ゴルバチョフソ連共産党書記長兼最高会議議長とコール西ドイツ首相、一九九〇年代の両国の協力関係強化をうたう共同宣言に署名。
- ▽綾瀬市の蓼川自治会、厚木基地のNPL（夜間離着陸訓練）の騒音によりNHKの受信料不払いを決める。15—JR東海道線の普通電車、終日全面禁煙となる。16—横須賀線開業百周年。

7月

見直し原案を発表

15―運輸省、ウオーターフロント開発相談窓口を運輸省第二港湾建設局(横浜)など八カ所に開設

16―金沢区走川プロムナードの第一期分区分完成、利用始まる

17―「横浜国際婦人文化交流会」の発会のつどい開催。▽東洋英和女学院大学の開学式行われる。▽県立青少年センターで市消防音楽隊の創立三〇周年記念演奏会行われる

20―運輸省の航海訓練船海王丸、横浜港大さん橋から最後の遠洋航海に出航

23―市立こども植物園が開園一〇周年

24―旭区の「こども自然公園」内に青少年野外活動センターが完成、竣工式開催。市内三番目

29―市、金沢バイオパークに進出する四社と一政府機関を正式決定し発表

30―旭区のごみ処理場で金庫に入った一億五千万円が見つかる

1―電算機処理等に係わる個人情報保護条例施行

3―建設省、「手づくりの郷土賞」に市の「ライトアップ・ヨコハマ」など九〇件を選定

4―「よこはま21世紀プラン」の見直しを審議する横浜国際港都建設審議会総会開催

▽六都県市首脳会議(首都圏サミット)、「首都圏環境宣言」を発表。20―「神奈川県科学技術アカデミー」の設立発起人会開催。▽最高裁第三小法廷、「百里基地訴訟」の上告審判で係争地の所有権について住民側の上告を棄却。23―中国共産党一三期中央委第四回総会(〜24日)を開き、趙紫陽氏を公職から解任。江沢民氏を新総書記に選出。

24―歌手美空ひばり(本名加藤和枝)さん死去(52歳)。25―参院新潟選挙区補欠選挙、社会党の大淵絹子氏当選。▽人間国宝の歌舞伎俳優尾上松緑(本名藤間豊)さん死去(76歳)。27―東京高裁、「第二次家永教科書訴訟」の差し戻し控訴審判決で「訴えの利益なし」と訴えを却下。28―川崎市議会、地方自治法百条に基づき同市前助役の小松秀熙氏を横浜地裁に告発

1―第一三回世界青年学生祭典が一七〇カ国三万人が参加し平壤で開催。2―東京都議会議員選挙、自民党二〇議席失い、四三議席。社会党三倍増の三六議席。▽米国の法律を基に核艦船入港を差し止めようとする「ネパの会」発足。▽ソ連のグロムイコ前外相死去(79歳)。5―厚木

5―新交通システム金沢シーサイドライン開業

11―世界交通学会横浜大会、五〇カ国一〇〇人が参加し開催

15―南区吉野町に文化活動・市民交流施設「吉野町市民プラザ」の会館記念式開催

18―横浜国際防災コンベンション開幕(〜23日)

20―第四回海の祭典、県民ホールで開催。▽三菱地所、M21地区に建設計画の「ランドマークタワー」の六九階に展望フロア設置計画を発表

21―国の文化財審議会、横浜開港記念会館を国の重要文化財に指定するよう答申。▽都筑自然公園計画地を会場に「都筑自然王国89」開催(〜8/6)。▽市、「舞岡リサーチパーク(仮称)」造成工事に伴うアセスメント準備書を公表

26―市、平成二年度国家予算に対する要望書を関係省庁に提出。四三件

27―米国、ソ連、ブルガリア、日本の宇宙飛行士が「宇宙少年団(YAC)国際ジャンボリー89」のメインゲストとして横浜博覧会を訪問。▽「第八回よこはま新能」山下公園で開催。市民一八〇〇人詰めかける

28―市南部斎場建設計画をめぐる市と住民、横浜地裁で和解が成立

29―「みなとみらい21レポート国際テレビ会議」がYESホールで開催

基地の土地返還訴訟で訴えを棄却された原告団の一部、最高裁に控訴。6―東南アジア諸国連合拡大外相会議、開催(〜8日)。

7―宮内庁、昭和天皇の遺産相続について、課税対象の遺産総額を約一八億六九〇〇万円と発表。8―厚生省、昭和六十三年

度の医療保険制度による医療費動向調査結果を発表。老人保険が初めて国民健康保険を上回る。

13―静岡県伊東沖で海底噴火。14―旧国鉄用地の転売問題で茅ヶ崎市、違約金一四九〇万円支払いで国鉄清算事業団と和解。

▽第15回先進国首脳会議(アルシュ・サミット)パリで開催(〜16日)。16オーストリアの指揮者、ヘルベルト・フォン・カラヤン氏死去(81歳)。23―第15回参院選挙当選者数、自民党36、社会党46、公明党10、共産党5、連合11、民社党3、税金党2、

二院クラブ1、スポーツ平和党1、諸派1、無所属10。25―横浜地方海難審判庁、潜水艦などしお・遊魚船第一富士丸衝突事故の海難審判を裁決。「なだしお」に主因あり。26―株式会社湘南国際村協会の設立発起人会開催。▽科学の創造的研究開発拠点を目指した「かながわサイエンスパーク」の完工式開催